

能 隅田川

塩津哲生

狂言 末広かり

野村万緑

半能 石橋

狩野了一
塩津圭介

第十回記念

塩津能の會

九州特別公演

喜多流

二〇一三年 十一月二十五日(土)

能は室町時代に成立されたとされる歴史ある舞台演劇です。能のストーリーは人生の中の一瞬を切り出して、その瞬間を舞(動き)と譜(セリフ)と囃子(楽器)に乗ってゆっくりと物語が進んでいきます。その瞬間をじっくりと自分なりに解釈してみてください。不思議と時代を超えて私たちの人生の一コマとも繋がってくるのではないのでしょうか。見る人によって感想が異なる能の世界はまさしく芸術舞台です。

第十回記念
塩津能の會
九州特別公演

能 隅田川

シテ
(梅若丸の母)
塩津哲生
子方
(梅若丸の意)
塩津希介
ワキ
(隅田川渡守)
御厨誠吾

笛 浦 政徳
小鼓 幸 正佳
大鼓 白坂保行
地頭 大村 定

狂言 末広かり

シテ
(果報者)
野村万禄
アド
(太郎冠者)
吉住 講
アド
(すっぱ)
吉良博靖
後見 杉山俊広

半能 石橋

シテ
(白獅子)
狩野了一
ツレ
(赤獅子)
塩津圭介
ワキ
(寂照法師)
御厨誠吾
笛 相原一彦
小鼓 幸 正佳
大鼓 白坂保行
太鼓 吉谷 潔
地頭 塩津哲生



隅田川

Sumidagawa

隅田川の渡し守が旅人たちを乗せ、舟を出そうとしているところに、生き別れた息子を探して旅をする狂女がやって来ます。狂女は「伊勢物語」に描かれた在原業平の故事になぞらえて自らの境遇を語り、舟に乗り込みます。

対岸では、群衆が柳の木の下に集まって念仏を唱えていました。渡し守は、これは昨年からさらわれてきてこの地で亡くなった子の吊いだと語ります。やがて舟は対岸に着きますが、狂女はひとり舟の中で泣き続けていました。実は、昨年亡くなった子というのは彼女が探していた息子だったのです。渡し守の勧めで念仏に加わった狂女は、やがて息子の声を聞き、姿を見ます。しかし、息子は抱きしめようとする彼女の腕をすり抜け、姿を消してしまっていました。

塩津哲生

1945年喜多流職分塩津清人の長男として熊本に生まれる。1959年に15世喜多流宗家故喜多実の内弟子として上京入門。その後「道成寺」「繪匣」「伯母捨」など数々の大曲秘曲を披露、紫綬褒章受章。塩津能の會主宰。重要無形文化財総合指定。全国各地に哲門会を展開指導にあたる。



石橋

Shakkyo

中国や天竺の仏跡を訪ね歩いた寂照法師は、中国の清涼山の麓にある石橋に辿り着きました。そこに一人の木こりの少年が現れ、寂照法師と言葉を交わします。少年は、橋の向こうは文殊菩薩の浄土であり、この橋は容易に渡れるものではないと語ります。そして、ここで待てば良いものが見られるだろうと言い残し、姿を消します。

寂照法師が少年の言葉通りに待つっていると、橋の向こうから文殊の使いである獅子が姿を現します。獅子は香り高く咲き誇る牡丹の花に戯れ、獅子舞を舞います。半能では、後半の獅子舞の部分のみを上演します。

塩津圭介

1984年喜多流職分塩津哲生の長男として東京に生まれる。2008年東京学芸大学教育学部卒業。APU立命館アジア太平洋大学非常勤講師。若者へ能を広める活動として「若者能」を立ち上げ、毎年公演。福岡、熊本、札幌をはじめ、全国各地に稽古場を展開し、指導者としても活躍している。



大濠公園能楽堂 福岡県福岡市中央区大濠公園1-5
TEL 092-715-2155

チケット

正面特別指定席	10,000円	2列目~8列目
正面 指定席	7,000円	
脇正面 指定席	5,000円	
中正面 指定席	4,000円	
棧敷席 自由席	3,000円	

オンラインチケット申し込み

<https://www.shiotsu-noh.com/contact/>
(クレジットカード決済・コンビニ購入受取が可能です。)

